

## 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

《試料・情報の利用目的及び利用方法》	●研究の名称 レミマゾラムと他の麻酔薬の相互作用の後向き検討
	●研究の対象 2020年1月～2024年12月に当院で全身麻酔を用いて手術を受けた方120名
	●研究の目的 全身麻酔を行う際に鎮静薬として使用するレミマゾラムは2020年に本邦で世界に先駆けて使用が可能になりました。全身麻酔は異なる薬剤を組み合わせる手術中に患者さんが痛みを感じたり、または起きたりしない様に調節しています。全身麻酔で使用される薬剤には相互作用があることが過去の研究からわかっています。相互作用というのは薬剤を組み合わせる使用した場合に、その効果に相互の薬剤が影響を与えることをいいます。レミマゾラムとこれまで全身麻酔薬として用いられてきた吸入麻酔薬であるセボフルランとデスフルランや静脈麻酔薬であるプロポフォールとの相互作用はいまだ不明です。本研究では、レミマゾラムとセボフルランやデスフルランやプロポフォールの相互作用を明らかにすることを目的としています。
	●研究の期間 研究機関の長による実施許可日から（西暦）2025年12月まで
	●利用又は提供を開始する予定日 研究機関の長による実施許可日
●他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では外部へ試料・情報を提供しません。	

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

<p>《利用し、又は提供する試料・情報の項目》</p>	<p>●研究に使用する情報</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究対象者背景：年齢、性別、既往歴、合併症</li> <li>・術前身体所見：身長、体重、血圧、脈拍</li> <li>・術前血液検査：血液学的検査、生化学検査</li> <li>・全身麻酔の記録：血圧、酸素飽和度、心拍数、脳波指標（Bispectral index、 Patient State Index）、レミマゾラムの投与量、セボフルラン濃度、デスフルラン濃度、プロポフォールの投与量など</li> </ul>
<p>《利用する者の範囲》</p>	<p>●機関名および責任者名 浜松医科大学 小林賢輔</p>
<p>《外国にある者に対する試料・情報の提供》</p>	<p>この研究では外国にある者に対する試料・情報を提供しません。</p>
<p>《試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称》</p>	<p>浜松医科大学 麻酔・蘇生学講座 小林賢輔</p>
<p>《試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）》</p>	<p>あなたの情報を研究に使用することや、他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、以下《問い合わせ先》をご確認ください。</p>
<p>《資料の入手または閲覧》</p>	<p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたご自身の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。</p>
<p>《情報の開示》</p>	<p>あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望され</p>

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

	<p>ない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。</p>
《問い合わせ先》	<p>〒431-3192 浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学</p> <p>部署名： 麻酔・蘇生学講座</p> <p>担当者： 小林賢輔</p> <p>TEL： 053-435-2738</p> <p>E-mail： <a href="mailto:kopaken@hama-med.ac.jp">kopaken@hama-med.ac.jp</a></p>